

政策名	5安全な港	責任者	企画調整室 事業担当課長	連携担当課 (建設部) 工事課、港湾工事事務所、施設事務所
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上			
個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する			
事務事業名	13港湾施設の維持補修事業	連絡先	052-654-7921	

1 PLAN(目的・概要)

目的	港湾施設である係留施設及び臨港交通施設等の維持補修を行うことにより、施設の安全性を確保します。	事業期間	平成22～26年度
概要	整備場所:名古屋港内 内容:港湾施設である係留施設(岸壁、船だまり、物揚場)及び臨港交通施設(道路、橋梁)等の維持補修 総事業費:12億円 事業手法:社会資本整備総合交付金事業	根拠法令・要綱等	社会資本整備重点計画法 名古屋港港湾計画
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
事業着手時点の評価 (その後見直した場合はその内容と理由を含む)	順次、港湾施設である係留施設及び臨港交通施設等の維持補修を行うことにより、施設の安全性を確保するとともに、機能の延命化を図ります。		

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は、各ふ頭の岸壁及び臨港道路の補修を行いました。 ・23年度は、引続き、各ふ頭の岸壁、船だまり及び臨港道路の補修を行う予定です。								
	年度	19	20	21	22	23	最終目標	26	補足説明
事業費	千円				128,400	194,811			人件費は事業費に含まれています。(21年度まで) ※22年度以降は、人件費は事業費の対象外です。
うち本組合事業費a	千円				85,600	129,874			
人員 正規職員	人				0.39	0.31			
嘱託職員	人				0.00	0.00			
人件費相当額	千円				3,308	2,718			
事業費a・人件費の合計	千円				88,908	132,592			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← 予算ベース

進捗状況を測る活動指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	26	備考(指標の算定方法など)
事業進捗率	単位				17.1	22.9	(累計)100		事業進捗率は、平成22年から5年間で補修を必要とする施設数に対する補修施設数の割合です。
	%				17.1				
	達成率(%)				100.0				
事業進捗率(%)					17.1				
備考 ・「事業着手時点の評価」に対する現状での検証 ・課題と対応策 等									

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	順次、施設を維持補修する必要があるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
計画どおり事業を進めていきます。			